

【講評】

第五十回茨城県冬休み読書感想文と手紙作品コンクール（主催：茨城県読書推進運動協議会、後援：茨城県立図書館・茨城県教育研究会学校図書館研究部・茨城新聞社）の入賞者が決定いたしました。

幼児の部、小学校低学年の部・中学年の部・高学年の部・中学生の部の五つの部門において、最優秀賞をはじめとする各賞を受賞された皆さん、誠におめでとうございます。また、本コンクールに向けて、課題図書を読み味わい、自分の心に響いたことや、読後に変化した自分自身の考え方、感じ方について、自分自身の言葉で読書感想文や手紙作品として表現された参加者の皆さんすべてに、心より敬意を表します。

本コンクールは、中学生から義務教育就学前までの幅広い分野に分かれ、それぞれに定められた課題図書について書きつづった読書感想文が寄せられる、伝統ある冬の読書感想文コンクールです。寒さ厳しい季節、暖かい部屋の中で、初めて出会った一冊の本のページをめくり、新たな世界にいざなわれていく時間は、読書のもつ至福の喜びのひとつです。読書離れが嘆かれる中、読書の楽しみが一人でも多くの子供たちに届いてほしいと願ってやみません。本コンクールで受賞された皆さんの文章には、心おどる本との出会いや、自らのものの見方、考え方を広げ深めることのできた確かな軌跡が、自分らしく選りすぐられた言葉でつづられており、読むものに「私も読んでみたい」「私が次に出会える本の世界はどのようなもののかな」というわくわくする思いを抱かせてくれるものばかりです。どうかこれからも、多くの子供たちが読書との幸せな出会いを続けていけることを切に願っております。